



はしもと
【千葉薬品社長賞】 橋本 ねね

「死ねよ。」「うざい。」「出てって。」…。

汚れた言葉で、あなたの優しさに牙を向けてきた私。

「ありがとう。」「ごめんね。」「大好きだよ。」

優しい言葉で、私の弱さを受け入れてくれた母。

母親を何度も傷つけてきた私も、2020年、18歳になります。

新年を迎えたこのタイミングで、私は母親に想いを伝えます。伝えさせてください。

「辛い時、なんとなくうまくいかない時、悩んだ時、嬉しい時、楽しい時、幸せな時。

どんな時も、私を受け入れてくれてありがとう。そして、ごめんなさい。

ひどい言葉、いや、そんな一言では表せないほどの言葉を浴びせたこと、後悔しています。

時には、私に対する気遣いや愛を無視して、最悪な母親だと泣く日もありました。

本当にアホで、自分勝手に、頭の固い私です。

この間、髪の毛がたくさん抜ける、と言っていたよね。言われた時、私は無視をしました。

けれど、実はとても心配しています。

原因が疲れや、ストレスなのであれば、近いうちにママの好きな温泉、

一緒に行きませんか…？

ママが、出かけない？と誘ってくれる時、私は、嫌だ。というけれど、

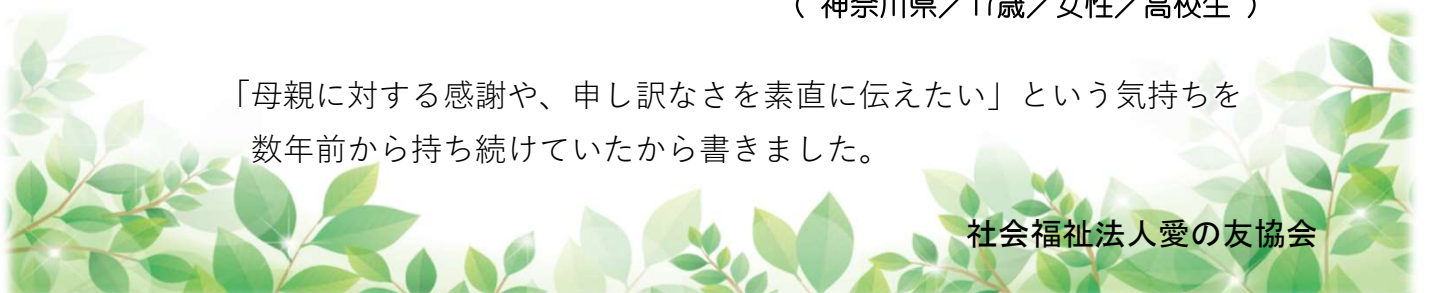
本当はいつも嬉しいんだ。とっても、とっても嬉しい。

いつも素直になれなくてごめんね。

この手紙でママに何を伝えたかったのか、まとめることはできないけど、最後に一言、
伝えさせてください。

ママが、私のママで良かったです。ずっとずっとず〜っと、大好きだよ。」

(神奈川県 / 17歳 / 女性 / 高校生)



「母親に対する感謝や、申し訳なさを素直に伝えたい」という気持ちを
数年前から持ち続けていたから書きました。

社会福祉法人愛の友協会